

# シキミの栽培技術指針

## —仁淀川流域—



中央西林業事務所  
森林技術センター

平成24年4月改訂

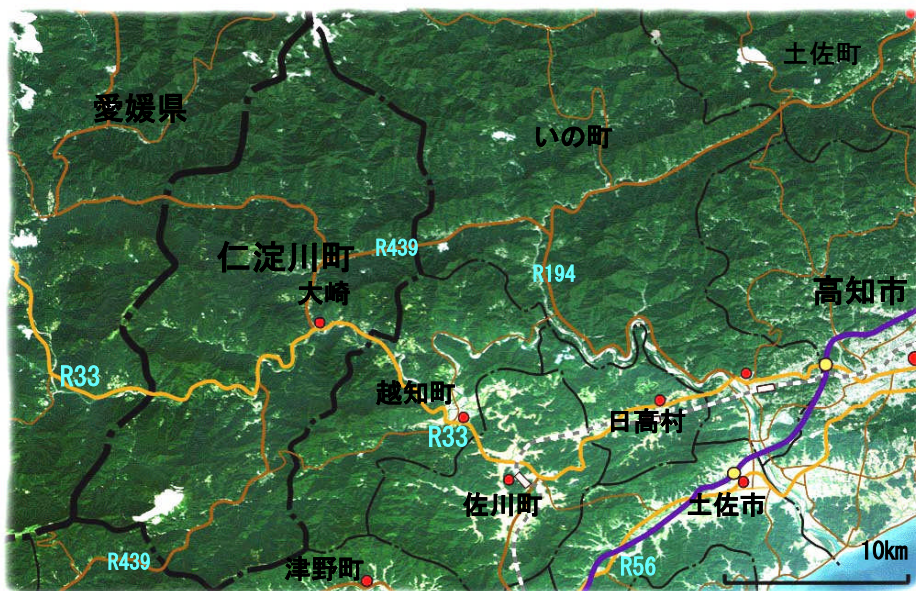
## はじめに

仁淀川町では人口の減少や高齢化が進み、農林業に従事する方が減少しています。そのため地域の経済・生産活動は低迷し、共同体としての機能維持が限界に達している“限界集落”の状態となっている地域も少なくありません。

特用林産物は毎年の現金収入が見込め、品目の組み合わせによっては通年経営・継続生産ができます。中でもシキミ栽培は比較的軽作業で且つ通年栽培が可能であるためその推進に取り組んでおり、平成20年度には集出荷施設の整備を行い出荷量の拡大を図ることにしました。

今後は、生産量の拡大と併せて生産額を増すために優良品種への転換（大葉→小葉の厚葉）を行い、販売価格のアップを目指します。そのためには品質や規格の統一を図ることが必要であり、また、地域のブランド商品とするため、森林技術センターの協力を得て「シキミの栽培技術指針」を作成するものです。

平成21年 7月



# I. シキミについて

## 1. 分 布

- 本州（宮城以南）、四国、九州などの山林中に広く生育し、県内では各地で栽培されている。

## 2. 形 態

- シキミはシキミ科シキミ属の常緑小高木で、樹高は3～5mぐらいで直立し、やや車輪状に分枝する。
- 葉は互生で、主に長楕円形で両端は尖り長さ8cm内外、短い柄があり全縁で葉質は厚く、葉を傷めると香りがある。



- 花は淡黄白色で花径は2.5cm、4月頃、枝先に両性花を開く。
- 実は袋果で径2～2.5cm、秋に熟すと裂開し、種子をはじき出す。
- 種子は楕円形で3～4mm、光沢のある黄色である。
- 有毒植物の一種。



## 3. 用 途（利 用）

- 切り枝として仏事に利用される。
- 葉を乾燥して、抹香・線香を作る材料の一部として使用される。
- 防風樹として生け垣に利用される。

## 名前の由来

シキミは果実が有毒なので悪しき実の意味で、アという字が略されたものだといわれています。また一説に“臭き実”や“重実（シゲミ）”からきているともいわれています。別名のハナノキは花の代りに墓前や仏前に供えるからであるといわれ、また、シキビともいわれます。「牧野新日本植物図鑑（北隆館）」より

## Ⅱ. シキミ栽培技術

### 1. 苗木

- 苗木を入手するには、①育苗業者から購入する②山取③挿し木や実生などにより自分で育苗する方法がある。
- ここでは、親木の形質を引き継ぐ挿し木繁殖について述べる。

### 2. 苗木の作り方（挿し木苗）

#### 1) 挿し付け床

- 鹿沼土、山砂、赤土、またはこれらを混合した土など、水はけがよく、水持ちがよい病害虫のない床土を選ぶ。
- 畑地などの露地挿しと育苗箱やトロ箱などを用いる箱挿しがある。

#### 2) 挿し穂づくり

- 母樹は小葉で色つやのよい厚葉の木を選び、充実した枝を採穂する。



- 挿し穂は、挿し付け前に3～5時間水に浸しておく。



- 挿し穂の長さは10～15cm、天挿し※とし、葉を4～5枚残し、適宜半分に切る。
- 挿し穂の切り口は、斜め切りあるいは両面切りにする。

※枝先を用いて挿し木することを天挿しという。  
なお、枝の途中を用いることを茎挿しという。

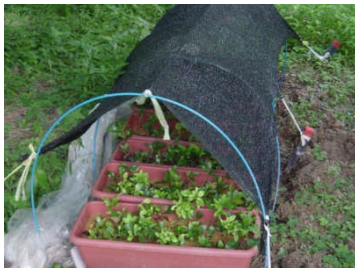
### ポイント

- 箱挿しでは、入れた鹿沼土の粉塵を水で洗い流し押し固め、挿し付け後は箱の下に水が抜けるまで十分に灌水する。
- 挿し穂が水やりや風などで動くと発根しないので、両手の人差し指と中指の間に挿した穂木を挟み、地際を強く押さえておく。



### 3) 挿し付け

- 6月下旬～7月中旬の梅雨挿しがよく、3月中旬～4月上旬の春挿しも可能である。
- 案内棒(割り箸等)で挿し穂の長さの1/3～1/2程度穴をあけ、挿し穂を入れ地際を指で強く押さえつけ、挿し穂が動かないようにする。
- 挿し付け本数は葉と葉がふれあう程度で、1 m<sup>2</sup>当たり150～200本前後とし、十分に灌水する。
- 切り口に発根促進剤(オキシベロン粉剤)を付けて挿すと発根率が高くなり、露地挿しでは特に有効である。



### 4) 管理および注意点

- 寒冷紗やよしずなどで日覆いをする(遮光率60～70%)。
- 挿し付け後、2～3ヶ月は床面が乾燥しないように適宜灌水する。



### 5) 床替え

- 床替えは翌春に1 m<sup>2</sup>当たり30本程度とし、1～2年肥培する。
- 床替え後も薄い日覆いを行い、床面が極度に乾燥しないように注意し、適宜灌水する。

### 6) 発根率

- フレーム内でミストを使用すると夏挿しが80～100%、露地の春挿しが50～70%である。

## ポイント

- 箱挿しで使用した鹿沼土は、枯葉やゴミなどを取り除き天日で乾燥させると、4～5回再利用できる。

## 3. 植 栽

### 1) 適地

- 樹勢が強くいずれの土地にも育つが、日当たりがよく、水はけのよい土地が適する。
- 土壌は、pH5.5～6.0の弱酸性が良いとされている。

### 2) 地拵え

- 田畑に植栽する場合は、うね立てをするとよい。
- 山地では一般の造林用の地拵えに準じて行う。

### 3) 植栽時期

- 3～4月の成長開始直前が最もよいが、秋植えでもよい。
- 定植時には、乾燥防止のため敷きワラ(草)を行うとよい。



### 4) 植栽本数

- 10 a 当たりの植栽本数は、山地の場合500～1,000本、畑地の場合、1,000～2,000本くらいである。
- 植栽本数は仕立て方や経営方針によって異なり、土地条件に合わせて植える。

### 5) 植え付け

- 苗木は3年生30cm以上のものを植栽し、山地植栽では70～80cm程度の大きな苗を植える方がよい。
- 植え穴を十分に掘り耕耘し、元肥として緩効性肥料(ウッドエース等)を1本当たり5～6個入れ、苗木を植え付ける。
- 深植えにならないように特に注意し、踏み固め灌水する。
- 山地等の傾斜地では、等高線上に植栽する。

## ポイント

- 休耕田に植栽する場合は、排水溝を掘るなどして水はけを良くする。
- 排水不良地では根腐れをおこし、生育不良となり枯死することもある。

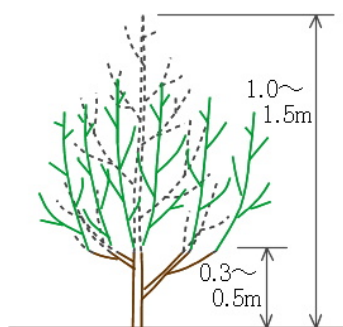
## 4 . 管 理

### 1) 除草

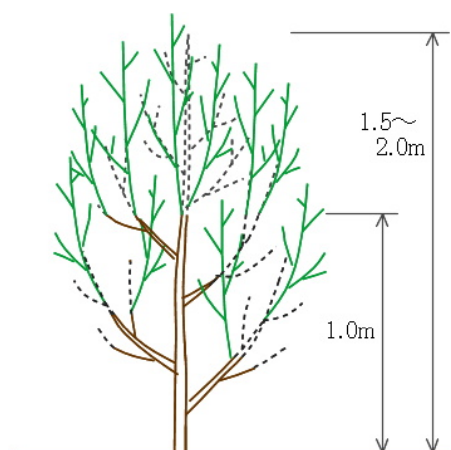
- 山地では、雑草木の下刈りおよびツル切りを行う。
- 畑地では、繁茂した雑草を刈り取りまたは抜き取りするが、除草剤を使用する方法もある(13~14ページの農薬登録票を参照)。

### 2) 仕立て方

- 台木の仕立て方には、“低木(低台)仕立て”と“高木(中台)仕立て”があり、萌芽枝を育成して採穂する。
- 台切りまでは、植え付け後3~4年を要する。



- 低木仕立ては、1.0~1.5mになると地上高30~50cmで台切りする。



- 高木仕立ては、定植後1.5~2.0m程度にし、地上高1.0m位で断幹する。

- 密植地の樹高が2~3mになったシキミは、0.5m前後で台切りし、再萌芽させる方がよい。

### ポイント

- 台切りは、強い枝を3本くらい残し、弱い枝や下垂した枝は切除する。
- 台切りの時期は、2~3月頃がよく、梅雨頃まで可能である。



### 3) 施肥(追肥)

- 植栽地の土地条件やシキミの葉の色・樹勢などにより、肥料の種類や量は異なる。
- 一般的には、3～4月頃苗木1本当たり100g程度の林地肥料F22(20:12:12)を施用し、必要に応じて7月頃にも施す。

### 4) 病虫害防除

- 一般的に、日陰地や通風の悪いところでは病虫害が発生しやすい。
- 良品を作るには、5月～9月頃の間回数、定期的に消毒を行う。

※主な病虫害の発生時期や被害症状、防除法は、次のとおり。



#### クシアナアキゾウムシ

- 6月下旬～10月頃、根元から脱出した成虫は葉の緑枝などを後食する。
- 秋頃、葉が黄色くなり樹勢が弱まり、連年加害されると枯れることもある。
- 枯損木は掘り取り焼却し、スミチオン乳剤(1,000倍液)を散布する。



#### シキミゲンバイムシ

- 成虫は5月上旬～9月頃に発生し、増殖を繰り返す。
- 葉裏に寄生して吸汁加害し、葉の表面が白いカスリ状になる。
- スミチオン乳剤(1,000倍液)を散布する。



#### コミカンアブラムシ

- 夏季に発生が多く、年に10数回発生。
- 葉が内側に向かって縮れて巻く。
- スミチオン乳剤(1,000倍液)やアゲロスリン乳剤(2,000倍液)、マツグリーン2(500倍液)を散布する。

## ポイント

- 施肥は、株元から30～40cm離れた外側から枝先の下付近にかけて、円形にばらまく。





### ハマキガ類 (チャハマキ・コカクモンハマキ)

- 1年に3～4回発生する。
- 幼虫は葉を2～3枚糸でつづり合わせてその中で葉肉部を食害する。
- つづり合わせた葉を取る。



### シキミタマバエ

- 葉の裏面に直径3mmくらいの半球形の虫えいが作られる。
- 被害は山間部のシキミに多い。
- 成虫が羽化する5月上旬までに切除し、焼却する。



### フシダニ(種不明)

- 4月頃から発生し、葉裏に寄生する。
- 旧葉に濃緑色の斑点がモザイク状に生じ、商品価値が著しく下がる。
- マシン油乳剤(100倍液)や発生初期にピラニカ乳剤(1,000倍液)を散布する。

- 炭疽病にはマンゼブ水和剤(600倍液)やベンレート水和剤(2,000倍液)、ダコニール(1,000倍液)などを散布する。
- すず病には発生源のカイガラムシ類の防除として、スプラサイド乳剤(1,000～1,500倍液)を散布する。
- 詳しくは“シキミ・サカキ病虫害防除マニュアル”を参照。

## ポイント

- 病虫害の発生予防には、被害にあった枝葉や下垂枝などの不要な枝を剪定・除去し、日当たり・風通しをよくする。
- 主な害虫は葉裏に多くいるので、薬剤散布する際には葉裏に散布するように心がける。
- 薬剤使用する時は説明書をよく読み、高温時は避け、防除マスクを着用する。

## Ⅲ. 収穫・出荷・流通

### 1. 収穫

- 収穫は台木の仕立てや次の萌芽を考えて切る。
- 長さや形状が出荷市場等の規格に達した枝から切り取る。
- 定植後3～4年目くらいから台切りした枝を少量採取できる。
- 6～7年目頃から、毎年採取できるが、本格的には10年前後からとなる。



- 採取した切り枝は、直ちに水に浸漬し、品質の保持に努める。

### 2. 出荷

#### 1) 荷造り

- 採取した切り枝は、病害葉や古葉、実などを取り除く。
- 出荷先の規格に合わせて、輪ゴムやビニール紐で元を揃えて束ねる。
- 荷造りしたシキミ束は出荷までの間、水に浸しておく。



### ポイント

- 長期間水に浸すと、切り口が黒くなり品質の低下を招くので注意する(特に夏場は葉が落ちやすくなる)。

## 2) 品質

■出荷先(市場・消費者)が望む“良いシキミ”とは、

- 葉が小さく濃緑色(厚葉)で病害や虫害が無いこと。
- 軸が通直で節間が短く枝や葉が多いこと。
- 元から15~20cmの所より四方に平均して小枝がついていること。

■葉の大きさを揃え、古葉・実・虫食い葉・日焼け葉などは入れない。

■曲りの大きいものは入れない。

## 3) 規格

■規格は出荷先により異なる(下表)。

■小束は形を重視し、重量にはこだわらない。

■主要な県内の規格は、右写真のとおり。

左：小束(小)

右：小束(大)



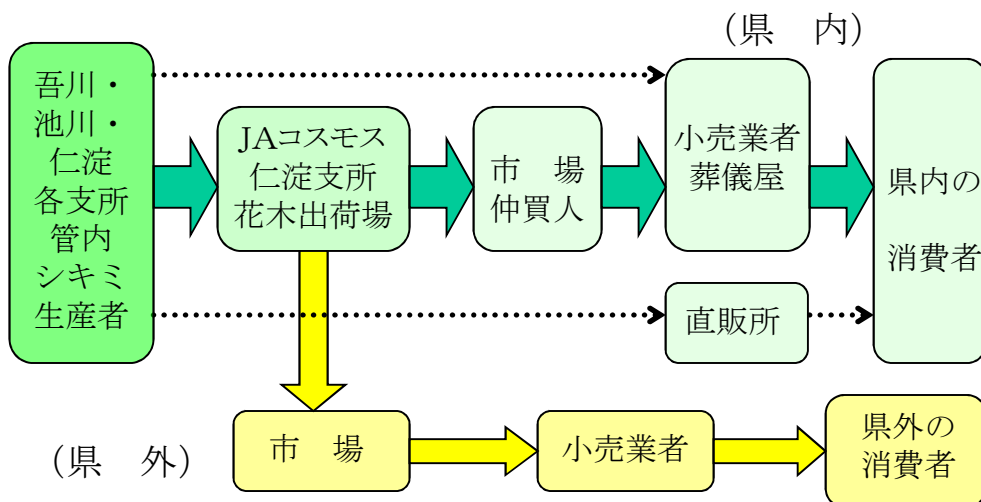
●主な出荷先別のシキミ規格表

市場	品名	規格 (葉先から)	切り下	重さ(目安)	備考
高知	シキミ小束(小)	45cm	約12・13cm	約200~250g	5束を1括り
	シキミ小束(大)	65cm	約20cm	約350~450g	5束を1括り
	シキミ4kg束	50~65cm	約15~20cm	4kg	2箇所結束
愛媛	シキミ小束(小)	55cm	約12~15cm	約200~250g	5束を1括り
	シキミ小束(大)	80cm	約20cm	約500~600g	5束を1括り
	シキミ4kg束	60~80cm	約15~20cm	4kg	2箇所結束
	シキミ8kg束	80~110cm	約20cm	8kg	3箇所結束
京都	シキミ小束(小)	45~50cm	約12・13cm	約250~300g	5束を1括り
	シキミ5kg束	60~80cm	約15~20cm	5kg	2~3箇所結束
広島	シキミ小束	60cm	約20cm	約200~300g	5束を1括り
	シキミ5kg束	80cm	約20cm	5kg	2~3箇所結束

### 3. 流通

#### 1) 流通経路

■仁淀川流域で生産されたシキミの流通経路は、次のとおり。



仁淀川流域におけるシキミの流通経路図

- J A コスモス仁淀川支所花木出荷場へ、各管内のシキミ生産者が直接搬入する。
- 内水槽のコンテナへ生産者別に浸し、保管する。
- 出荷作業(荷造り)の共同一元化により、生産者の労力軽減や出荷量の確保と拡大を図る。



#### 2) 価格

- シキミの価格は、品質や出荷時期などにより異なる。
- 高知県内の卸市場の価格は、65cm束(350~450g)が160円、45cm束(200~300g)が100円くらいである(平成24年4月時)。



## IV. シキミ栽培の経営

### 1. 経営上の特徴

- シキミの切り枝は、正月や盆、彼岸を中心に、年間を通して需要があり、ほぼ年間を通じて収穫・出荷することができる。
- 管理に掛かる労力や経費が比較的少なく、高齢者の就労対策や中山間の複合経営の一品目として有望な作物である。
- 継続的に且つ安定的に供給できる体制を作る必要がある。

### 2. シキミの栽培ごよみ(概要)

年次 月別	1年目	2年目	3年目 以降	作業内容
1月				<ul style="list-style-type: none"> <li>■定植の時期・本数</li> <li>●元肥として緩効性肥料(ウッドエース等)を5～6個入れ、3～4月に植えるが、秋植えでもよい。</li> <li>●10a当たりの植栽本数               <ul style="list-style-type: none"> <li>・山地：500～1,000本</li> <li>・畑地：1,000～2,000本</li> </ul> </li> <li>■除草               <ul style="list-style-type: none"> <li>●刈り取りが主であるが、除草剤を使用する方法もある。</li> </ul> </li> <li>■仕立て方               <ul style="list-style-type: none"> <li>●低木・高木仕立てがあり、植栽3～4年後の2～3月に台切りする。</li> </ul> </li> <li>■施肥               <ul style="list-style-type: none"> <li>●林地肥料F22(20：12：12)を苗木1本当たり100g程度、適宜施用する。</li> </ul> </li> <li>■病虫害防除               <ul style="list-style-type: none"> <li>●被害の多いグンバイムシやアブラムシを中心に消毒する。</li> </ul> </li> <li>■収穫               <ul style="list-style-type: none"> <li>●6～7年目頃から毎年採取できるが、本格的には10年前後からとなる。</li> </ul> </li> </ul>
2月			(台切り)	
3月	定植	施肥	施肥	
4月				
5月	防除 除草	防除 除草	防除 除草	
6月				
7月	防除 施肥	防除 (施肥)	防除 (施肥)	
8月				
9月	防除	防除	防除	
10月	除草	除草	除草	
11月	(定植)			
12月				

シキミ・サカキ栽培における病害虫の農薬登録一覧(1)

登録番号	農薬の名称	農薬の種類	作物名称	病害虫・雑草名称			
第4250号	日本化薬ダイアジン水和剤34	ダイアジン水和剤	樹木類	アメリカシロヒトリ			
第4262号	日農ダイアジン水和剤34						
第5094号	三共ダイアジン水和剤34						
第11240号	ヤシマダイアジン水和剤34						
第11663号	ホクコーダイアジン水和剤34						
第18039号	アグロスダイアジン水和剤34						
第4962号	住化スミチオン乳剤	MEP乳剤	樹木類	アブラムシ類、グンバイムシ類、フラールバゾウムシ、アメリカシロヒトリ			
第4982号	日産スミチオン乳剤						
第4991号	ホクコースミチオン乳剤						
第5042号	日農スミチオン乳剤						
第5052号	サンケイスミチオン乳剤						
第5053号	三共スミチオン乳剤						
第5054号	三共スミチオン乳剤						
第5976号	クスイスミチオン乳剤						
第12257号	サンケイスミチオン乳剤						
第12333号	一農スミチオン乳剤						
第21949号	協友スミチオン乳剤						
第22647号	ホクサンスミチオン乳剤						
第19590号	家庭園芸用日農スミチオン乳剤				MEP乳剤	樹木類	アブラムシ類、グンバイムシ類、アメリカシロヒトリ
第19591号	家庭園芸用キングスミチオン乳剤						
第21939号	家庭園芸用スミチオン乳剤						
第21704号	緑化用スミチオン乳剤	MEP乳剤	樹木類	アメリカシロヒトリ、フラールバゾウムシ、アブラムシ類、グンバイムシ類			
第5050号	金鳥スミチオン乳剤	MEP乳剤	樹木類	アブラムシ類			
第13250号	理研スミチオン乳剤						
第15350号	ヤシマ産業スミチオン乳剤50						
第15042号	住化スミバイン乳剤	MEP乳剤	樹木類	カミキリムシ類(スギカミキリを除く)、スギカミキリ、ヤマダカレハ、キクイムシ類、エダシヤク類、ソウムシ類、ヒノキカワモグリガ、マイマイガ・ドクガ類、スギギイノカタマバエ、スギタマバエ			
第15043号	サンケイスミバイン乳剤						
第15044号	ヤシマスミバイン乳剤						
第17141号	井筒屋スミバイン乳剤	MEP乳剤	樹木類	カミキリムシ類(スギカミキリを除く)、スギカミキリ、ヤマダカレハ、キクイムシ類、エダシヤク類、ソウムシ類、ドクガ類、マイマイガ、スギタマバエ			
第3328号	サンケイディプレックス乳剤	DEP乳剤	樹木類(さんごじゅを除く)	マツケムシ、ウメケムシ、マイマイガ、モンクローヤチホコ、ミノガ類、クスサシ、ミノウスバ、チヤドクガ、キオビエダシヤク、ユウマダラエダシヤク、アメリカシロヒトリ			
第3233号	ディプレックス乳剤						
第3340号	日農ディプレックス乳剤						
第6978号	三共ディプレックス乳剤						
第11499号	ホクコーディプレックス乳剤						
第22686号	ホクサンディプレックス乳剤						
第12414号	サンケイディプレックス乳剤	DEP乳剤	樹木類	マツケムシ、ウメケムシ、マイマイガ、モンクローヤチホコ、ミノガ類、クスサシ、ミノウスバ、チヤドクガ、キオビエダシヤク、ユウマダラエダシヤク			
第16074号	ディプレックス乳剤10	DEP乳剤	街路樹 樹木(庭木・林木)	アメリカシロヒトリ			
第16589号	アグロリン乳剤	シベルメリン乳剤	しきみ・さかき	アブラムシ類			
第16590号	クスイアグロリン乳剤						
第16591号	日農アグロリン乳剤						
第12022号	スプラザイバ乳剤40	DMTP乳剤	樹木類	カイガラムシ類幼虫			
第23021号	クスイスプラザイバ乳剤40						
第23022号	IAスプラザイバ乳剤40						
第19184号	コテツフロアブル	クロルフェナビル水和剤	しきみ	クスアナアキノウムシ			
第19185号	クスイコテツフロアブル						
第19186号	日曹コテツフロアブル						
第19479号	ヤシマコテツフロアブル						
第18343号	ピラニカEW				テプフェンピラト乳剤	しきみ	サビダニ類
第18344号	クスイピラニカEW						
第18345号	日曹ピラニカEW						
第19477号	ヤシマピラニカEW						
第11851号	クスイアタックオイル	マシン油乳剤	しきみ	サビダニ類			
第12732号	サマーマシン97	マシン油乳剤	つばき類	カイガラムシ類			
第15268号	エアータック乳剤	マシン油乳剤	つばき類	カイガラムシ類			
第18473号	アレスリン・マシン油乳剤	マシン油乳剤	つばき類	ロウムシ類、チヤドクガ			
第19962号	バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	樹木類	ハダニ類			
第13175号	ホクコーオトルン水和剤	アセフェート水和剤	樹木類	アザミウマ類			
第19566号	家庭園芸用ホクコーオトルン水和剤						
第19992号	オトルン水和剤						
第21519号	家庭園芸用オトルン水和剤						
第21819号	家庭園芸用GFオトルン水和剤						
第20838号	マフグリーン液剤2				アセタミプリド液剤	樹木類	アメリカシロヒトリ、アブラムシ類
第19885号	エスマルクDF	BT水和剤	樹木類	ケムシ類、シャクトリムシ類			
第20899号	バイオマックスDF						
第19616号	ペンタリ顆粒水和剤	BT水和剤	樹木類	ケムシ類			
第19618号	ホクコーペンタリ顆粒水和剤						
第21734号	STセンサー顆粒水和剤						
第15000号	バシレックス水和剤	BT水和剤	樹木類	トビモンオオエダシヤク			
第22986号	家庭園芸用バシレックス水和剤						
第14459号	トアロー水和剤CT	BT水和剤	樹木類	アメリカシロヒトリ、イラガ類			
第16864号	兼商デミリン水和剤	ジフルベンズロン水和剤	樹木類	ケムシ類(若～中齢幼虫)			
第20309号	マトリックフロアブル	クロマフェリド水和剤	樹木類	ケムシ類			
第22410号	MICマトリックフロアブル		樹木類	ケムシ類			
第20854号	アタックワンAL	ピフェントリン・ミクロブタニル液剤	樹木類	ケムシ類			
第22269号	ステインガーフロアブル	フルベンシアミド水和剤	樹木類	ケムシ類			
第22461号	アタセルフロアブル	メタフルミゾン水和剤	樹木類	ケムシ類			
第22876号	ベニカマツグア	クロチアニジン液剤	樹木類	ケムシ類			

シキミ・サカキ栽培における病害虫の農薬登録一覧(2)

登録番号	農薬の名称	農薬の種類	作物名称	病害虫・雑草名称
第22029号	旭D-D	D-D剤	樹木類	ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ、コガネムシ類幼虫
第22030号	D-D			
第22031号	DC油剤			
第22032号	テロン			
第22033号	サンクイテロン			
第20346号	石原アオバ液剤	ホスチアゼート液剤	樹木類	ネグサレセンチュウ
第21971号	ネマバスター	フォーールウェブルア剤	樹木類	アメリカシロヒトリ(誘引剤)
第20652号	ニトリアーベアメシロ>			
第16823号	ダコニール1000	TPN水和剤	しきみ	炭疽病
第16824号	クマイダコニール1000			
第21759号	STダコニール1000			
第20889号	ペンレート水和剤	ペニシル水和剤	樹木類	ごま色斑点病、炭疽病、輪紋葉枯病
第7381号	ドイボルドーA	銅水和剤	樹木類	斑点症(シュードサーコスボラ菌)
第20774号	ボルドー	銅水和剤	樹木類	斑点症(シュードサーコスボラ菌)、輪紋葉枯病
第21111号	Zボルドー			
第22308号	グリーンクター	銅水和剤	樹木類	枝枯細菌病
第22869号	グリーンクターII			
第18821号	ベルコート水和剤	イノクタジナルベシル酸塩水和剤	樹木類	炭疽病
第18822号	三共ベルコート水和剤			
第18825号	クマイベルコート水和剤			
第18827号	ヤシマベルコート水和剤			
第22955号	MICベルコート水和剤			
第18852号	クマイベニコゼブ水和剤	マンゼブ水和剤	樹木類	炭疽病、斑点症(シュードサーコスボラ菌)、枝枯細菌病
第18853号	三共ベニコゼブ水和剤			
第22346号	クマイベニコゼブ水和剤			
第22432号	MICベニコゼブ水和剤			
第14685号	パンタック水和剤75	メブロン水和剤	樹木類	くもの巣病、白絹病
第16152号	マイコシールド	オキシテラサイクリン水和剤	樹木類	枝枯細菌病
第16300号	トリフミン水和剤	トリフルミゾール水和剤	樹木類	うどんこ病
第16301号	石原トリフミン水和剤			
第19469号	ヤシマトリフミン水和剤			
第16882号	リソレックス水和剤	トルコホスメチル水和剤	樹木類	くもの巣病、白絹病
第16883号	ホクローソレックス水和剤			
第18398号	三共バクテサイド水和剤	オキシテラサイクリン・ストレプトマイシン・銅水和剤	樹木類	枝枯細菌病
第18399号	ファイザーバクテサイド水和剤			
第22666号	ホクサンバクテサイド水和剤			
第19252号	モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	樹木類	くもの巣病、白絹病
第19654号	日産モンカットフロアブル40	シメコソゾール水和剤	樹木類	うどんこ病
第20695号	パッチロン水和剤			
第13411号	トップジンMペースト	チオファネートメチルペースト剤	樹木類	切り口及び傷口の癒合促進
第7327号	トレファノサイド乳剤	トリフルラリン剤	樹木類	一年生雑草(ツクサ、カヤツリグサ、キク・アブラナ科を除く)
第9512号	トレファノサイド粒剤2.5			
第13895号	武田トレファノサイド乳剤			
第21692号	STトレファノサイド乳剤			
第15992号	ナブ乳剤			
第16225号	クマイナブ乳剤	セトキシジム乳剤	樹木類	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)
第16227号	ホクローナブ乳剤			
第16228号	ヤシマナブ乳剤			
第16397号	ブリグロックSL			
第16400号	マイゼット	ジクワット・バラコート液剤	樹木類	一年生雑草
第17622号	グリーンフィールド粒剤	フルルプリミドール粒剤	樹木類	雑草の伸長抑制
第19929号	クサクリン液剤	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	樹木等	一年生雑草、多年生雑草、スギナ
第20389号	マルガリーダ			
第20013号	三共の草枯らし			
第20706号	フリーパス除草スプレー			
第20707号	クサトロ-セ除草スプレー			
第21282号	草退治シャワー			
第21430号	マイター液剤			
第21743号	グリホキングシャワー			
第21941号	カルナクス			
第22075号	クサブローシャワー			
第22449号	草枯らしMIC			
第22939号	クサクリア			
第20109号	ラウンドアップハイロード			
第21014号	モンサントラウンドアップハイロード			
第20134号	スナッチショット粒剤			
第20958号	バスタ液剤	グルホシネート液剤	樹木類	一年生雑草
第21130号	タッチダウンIQ	グリホサートカリウム塩液剤	樹木類	一年生雑草
第22161号	タッチダウンIQ	グリホサートカリウム塩液剤	樹木類	一年生雑草、マルバツクサ、多年生雑草、スギナ
第21766号	ラウンドアップマックスロード			
第21951号	ザッソージェース	グリホサートカリウム塩液剤	樹木類	一年生雑草、多年生雑草
第21593号	ネコソギクイックプロFL	グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤	樹木類	竹類
第21692号	STトレファノサイド乳剤	トリフルラリン剤	樹木類	一年生雑草(ツクサ、カヤツリグサ、キク・アブラナ科を除く)
第22127号	スナッチショット粒剤	イソキサベン・トリフルラリン粒剤	樹木類	一年生雑草
第22291号	草退治シャワーワイド	グリホサートイソプロピルアミン塩・MCP Aイソプロピルアミン塩液剤	樹木類	一年生雑草、多年生雑草
第22901号	ザクサ液剤	グルホシネートPナトリウム塩液剤	樹木類	一年生雑草、多年生雑草
第22902号	ホクローザクサ液剤			

平成24年4月17日現在

農薬の使用については、取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください

## お問い合わせ先

中央西林業事務所	〒781-2110 吾川郡いの町1381 TEL:088-893-3612 FAX:088-893-0464
森林技術センター	〒782-0078 香美市土佐山田町大平80 TEL:0887-52-5105 FAX:0887-52-4167
コスモス農業共同組合 仁淀支所	〒781-1801 吾川郡仁淀川町森2571 TEL:0889-32-1116 FAX:0889-32-1119